

第3回「北海道 Society5.0 懇談会」 開催概要

- 1 日時 令和2年2月17日(月) 10:00~12:00
- 2 場所 札幌ガーデンパレス 2階 丹頂の間
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
- 4 議題 別添「次第」のとおり
- 5 議事

○ 議事1 未来技術を活用した北海道の未来社会に関するプレゼンテーション

- ・ 斉野委員から「目指すべき北海道 Society5.0 を意識した北海道観光の在り方」について説明
- ・ 片山委員から「道総研 工業試験場の取組」について説明 (資料1)

○ 議事2 「北海道 Society5.0 構想」(素案) について

- ・ 事務局(北海道)から説明(資料2~4)

○ 議事3 意見交換

【主な意見】

I 「はじめに」及びII「北海道 Society5.0」

- ・ 「はじめに」の最初の「近年、IoTなどのICTやAI、ロボットなど……」について、意味が良く分からないので分かりやすく記載いただきたい。
- ・ 「はじめに」で全体が見えるような形で、北海道が他の地域より優位に進めていくことや10年後の未来予想図を記載した方がよい。
- ・ 未来技術が何かを定義し、働きかける必要がある。
- ・ 10年後のもう一歩先に進んだワクワクする未来が揭示されると良い。
- ・ 50ページを読み砕くのは難しいので、1~2枚のサマリーがあっても良い。
- ・ P8の図の「010101……」は量子コンピュータの研究が進んでおり、新しいものがある。
- ・ 10年後のものは、もっとホラを吹くようなものでも良いのではないかと。
- ・ 未来の絵を描けないのはそのとおりで、分かりやすい目標設定が必要。そのために課題に対する課題解決では未来はなく、化石燃料が使われない、北海道内どこでも2~3時間で移動出来るなど、分かりやすい目標設定があっても良い。

III 「北海道の現状と未来技術の可能性」

- ・ 農業の衛星リモートセンシングについて、「など」ではなく、具体的に記載していただきたい。
- ・ 教育関係はテレビ会議だけではなく、IVに記載しているVRやARなどの記載と統一した方がよい。
- ・ GPSみちびきが4機体制から3年後には7機体制になるので、その活用について記載があっても良い。
- ・ 行政について、マイナンバー以外のデジタル化について記載があっても良い。
- ・ 路線バスの自動運転は、撤退した路線では運行しないのではないかと。
- ・ 現状が厳しい状況で、未来技術は素晴らしいということに記載。

IV 「北海道の未来社会」

- ・ ワクワク感、エネルギーやMaaSなど複合的に取り込んだ北海道の未来都市を記載いただきたい。
- ・ 宇宙技術も含めた新産業の創出を記載いただきたい。
- ・ 各分野の最後に「その他に期待される未来の姿」の欄があり、その中に良いことが書いてあるが、農業や水産などの部分では姿ではなく手段が記載されているので、抽象的でも良いので期待できる未来の姿を記載いただきたい。
- ・ 未来のイメージのワクワク感を書くとうまい。
- ・ 北海道の水産は恵まれているが、基礎データが不足しており、未来技術の活用が進んでいない。今はここで未来大学で実証しているが、インセンティブがないので、協力してくれる人が少ない。
- ・ データを集めることは可能だが、何が達成されるか分からなければ、集めても無駄になる。

V 「構想の実現に向けて」

- ・ SDGsでは誰一人取り残さない視点があり、明るい未来に取り残されるデジタルディバイトのことも書いてはどうか。
- ・ インフラの整備では面がカバーされていない。情報通信基盤整備について、5Gの導入だけで結論づけられると困るので、2030年に北海道でどのような基盤整備がされるのか、もう少し具体的に書いた方がよいのではないかと。
- ・ 道民自らが積極的にデータを使いこなし、活用していかなければならない。
- ・ スマホの利用により、既に個人情報吸い上げられているが、一方で利便性は享受している。
- ・ 行政ではなく、懇談会でリスクを取って10年後のワクワクした明るい北海道の姿を描く検討も必要ではないかと。
- ・ 現実を踏まえないといけない行政の計画と異なり、懇談会が作成する構想という位置づけなのでリスクを含みながらも明るい未来を描いた方がよい。また、そういった位置づけであることを明示することも必要ではないかと。
- ・ 行政の役割は地域だけではなく、市町村の連携、北海道全体の連携について記載した方がよい。

全体について

- ・ P9のビジネスマンはビジネスパーソンにした方がよい。
- ・ P7とP25に同じような図がある。
- ・ 用語集を作成した方がよい。

今後の進め方

- ・ 意見をまとめるため、早めに資料をいただきたい。

○ 議事4 懇談会の今後の進め方について

- ・ 事務局(北海道)から説明(資料5)